

初めての太原市内観光

吉村千陽

後期の授業が始まってから1ヶ月が経ち、留学生活も残り3ヶ月となりました。最近では授業中先生が言っていることや中国人の友達が話している内容などほとんど理解できるようになり、自分の考えや意見など中国語を使って相手に伝えることができるようになってきました。6月にはHSK試験、7月には期末試験があるので前期以上に勉強に集中していきたいと思います。

山西省太原市に来てから半年以上経ちますが、今まで太原市内を観光したことがありませんでしたが、今回初めて太原市内にある双塔寺（正式名称は、永祚寺）に行ってきました。山西大学からはバスで40分ほどかかります。終点が双塔寺で乗り換えもないので迷わず簡単にいくことができました。拝観料は一般だと20円で学生証を持っていくと10元になります。双塔寺は明の時代（1368-1644年）に妙峰禅師によって建てられた太原市内の有名な観光名所です。境内の二つの塔が双塔寺の名前の由来になっています。私たちが訪れた日の前日に雪が降り、程よく積もった雪が一層幻想的に見せてくれました。境内は一部博物館になっており、双塔寺の歴史や、中国国内の塔のある寺についての資料が置いてありました。塔は13階建てになっていて、塔内には螺旋状の階段があり誰でも最上階まで登れるようになっていました。塔内はとても暗く階段も急なので登る際には注意が必要です。塔の周りには渡り廊下のような屋根付きの通路があり、中国らしい朱色の柱がとてもきれいでした。屋根を支える柱や屋根裏など細かいところまで装飾は施されており、それらが今でもきれいに残されていました。太原市内、山西省内にはまだまだ訪れるべき場所があるので、学校内にこもらずどんどん外に出ていきたいと思っています。



【永祚寺の入り口】

階段下の左側にチケットを買う建物があります。



【雪が積もった永祚寺】

境内にはたくさんのボタンが植えられていて、
6月になると綺麗な花が咲くそうです。



【細部まで装飾が施されている通路】